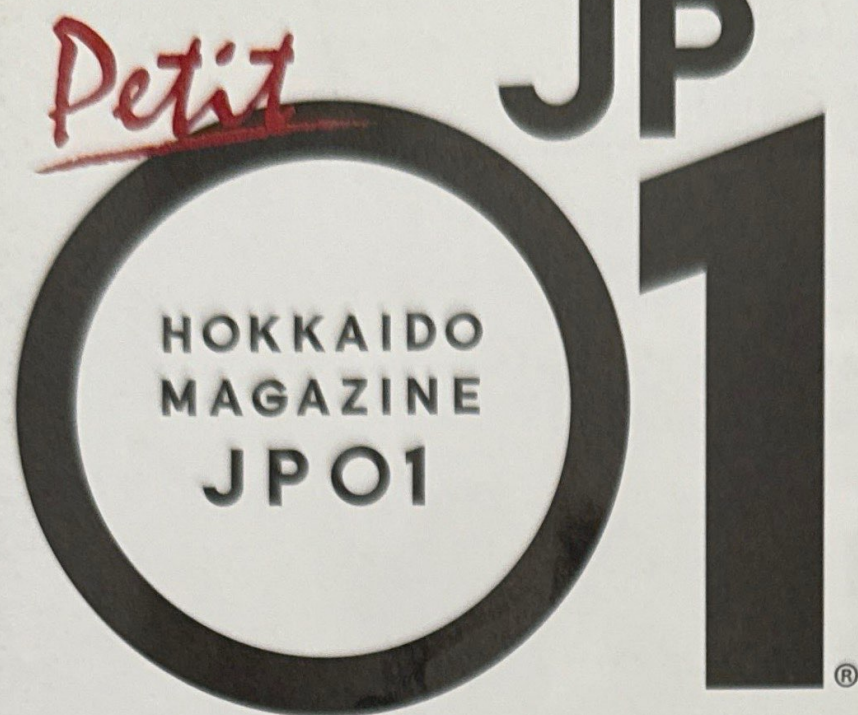


出かけよう。心が動く、5感が動く
[プチ・ジェイビーゼロワン]



見たい・知りたい・体験したい

アイヌ文化を めぐる冒険の旅



北海道観光PR
キャラクター
キュンちゃん



ウポボイPRキャラクター
「トウレツポん」

アイヌ文化と、そこに影響を与えた 文化や歴史を探る冒険に出よう！

知っているだろうか？北海道は、歴史の時代区分が本州と異なることを。
北海道の先住民族であるアイヌの人々が、舟で海を渡り交易していたことを。
そんなアイヌ民族の独自の文化や歴史について、
現地に出かけて、人々や自然の中で感じる冒険の旅をモデルコースにまとめた。
「アイヌ文化をめぐる冒険の旅」。さあ、あなたもでかけてみよう！



AINU MUSEUM+TRIP HOKKAIDO

アイヌミュージアムトリップ

北海道内各地のアイヌ文化関連施設と、その周辺にある観光スポットの魅力や見どころをご紹介します！



北海道公式観光サイト

HOKKAIDO LOVE!

LINE 公式アカウント

これまで知らなかった北海道の観光・グルメなど、旬の情報を「LINE公式アカウント」からお届けしています！



未来へつづく、一万年ストーリー。

北の縄文

北の縄文ポータルサイト

ユネスコ世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を含む「北海道の縄文」の魅力を発信しています！





CONTENTS

- 04 まずは知りたい！
アイヌ文化とその歴史
- 05 アイヌ文化をめぐる
冒険の旅
- 06 in 道央
- 10 in 道東
- 14 in 道北
- 18 in 道南
- 22 シェフとアイヌ伝統料理伝承者が
メニュー開発
Ainu Nouvelle Cuisine
- 26 Catch! Hokkaido ご案内
- 28 アイヌミュージアム
バーチャルガイド
アイヌ関連施設情報



北海道観光PR
キャラクター

キュンちゃん



ウボボイ
PRキャラクター

「トウレッポン」

キュンちゃんとトウレッポンの
コラボ動画、YouTubeで公開中！

Hokkaido Love! チャンネル

HOKKAIDO LOVE!

[https://www.youtube.com/
watch?v=mt3rSCVP8pQ](https://www.youtube.com/watch?v=mt3rSCVP8pQ)



出かけよう。心が動く、5感が動く

JP01 [プチ・ジェイビーゼロワン]

アイヌ文化をめぐる冒険の旅

企画／北海道環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課
発行・編集・デザイン・印刷／総合商研株式会社

北海道発掘マガジンJP01（ジェイビーゼロワン：通称ゼロワン）は、179市町村、14振興局のありのままの、でもありきたりではない魅力を共有し、「思わず出かけたくなる北海道」として皆様にお届けする総合商研株式発行の季刊誌です。

※掲載している情報は2023年3月現在のものであり、変更される場合があります。

※JP01〔ジェイビーゼロワン〕とは国際標準化機構による「北海道」の国際的地理コードに由来します。
(ISO 3166-2)

※「JP01」は、総合商研株式会社の登録商標です。（登録第5798711号商標など）

（2023年3月発行）



まずは知りたい!

アイヌ文化とその歴史



言葉

アイヌ語は日本語とは異なる独自の言語です。北海道の地名は、現在ではほとんどが日本語の漢字で表記されていますが、その多くはアイヌ語に由来するものです。またアイヌ語は、さまざまな口承文芸をはぐくんできたことでも知られています。



芸能

儀式の際に踊られる踊り、労働のようすをあらわす踊り、子守歌や自分の気持ちを歌う歌など、様々な歌や踊りが伝承されてきました。楽器ではムックリ(口琴の一種)やトンコリ(五弦琴)などが比較的有名です。



住まい

家屋を建てる場所は、きれいな飲み水が得られて、土砂くずれや水害のおそれなく、食べ物を得るのにも不便ではないところが選ばれました。昔の家屋には、茅葺きのものや笹葺きのものが見られます。



信仰

伝統的な信仰では、あらゆるものに魂があると考えられ、その中でも、動植物や道具のように人間にさまざまな恵みをもたらすもの、天候や津波、地震、流行病など人間の力の及ばないものなどをカムイとして敬いました。



衣服

伝統的な衣服では、樹皮、草皮や木綿によるもののほか、昔は獣皮や魚皮も用いられていました。写真のような多くの文様がある衣服は、主に儀式などの場で着用されます。このほか装身具には靴、手甲、脚絆、前掛けや、耳輪、首飾りなどがあります。



歴史(古代～中世)

北海道における縄文文化や続縄文文化の担い手であった人々は、ほぼ現在のアイヌ民族に繋がる人々でした。ただその生活様式は、時代とともに変化し、本州からの影響も受けた「縄文文化」と北方から移動してきた人々の「オホーツク文化」の時代となり、12～13世紀ごろに、それぞれの影響を受けて、今日において伝統的なアイヌ文化とされる生活文化になっていったと考えられています。



食べ物

伝統的な食文化では、自然から調達した食材や、交易で手に入れた食材を、煮る、焼く、炊くなどの方法で調理しました。写真はオハウなどと呼ばれる汁物で、山菜や魚、肉などが具材になっています。冬期や災害時に備え、食材は干物などにして保存しました。



歴史(中世～近世)

15世紀ごろになると、和人が交易などのために北海道に来住することが多くなり、やがて和人の勢力が大きくなります。江戸時代になると、松前藩らは、アイヌ民族にとって不利な交易を求めたり、自由な交易を阻害するなど、厳しい条件を強いていきました。



生業

狩猟、漁労や植物の採取、農耕が伝統的な生業でした。また、和人など周辺の諸民族と活発に交易を行っていました。自分たちで捕らえた獣や海獣の皮、魚などのほか、自分たちで制作した樹皮衣などを交易し、金属製品や装飾品などを入手していました。



現在

明治時代になると、政府はアイヌ文化を否定し、アイヌの人々は強い同化の圧力の中を生きることになりました。社会の偏見も厳しい時代が続きましたが、先人たちは自分たちの歴史や文化を大事に考える気持ちを失くすことはありませんでした。今、多様性が尊重されるべき時代を迎え、文化伝承などの運動への社会のいっそうの理解が求められています。

アイヌ文化を めぐる冒険の旅

「アイヌ文化をめぐる冒険の旅」は、未知なるものを
探求する自由研究のような旅だ。訪問先には、事前
予約してガイド係や音声ガイドで解説を受けるのが
ベスト。知られざる事実を言葉で聞き、独自のデザ
インや音楽などの表現を楽しみ、自然を駆け巡った
時代を想像することで、見失った大切なものを発見
できるかもしれない。

P.06 道央

P.18 道南

道北 P.14

道東 P.10



アイヌ文化を
めぐる冒険の旅

in
道央

1
日目



アイヌ文化の 世界観にふれる 道央の旅

現在に受け継がれるアイヌ文化

「道央の旅」1日目は、アイヌ文化が決して過去のものではなく、今も現代社会に息づいていることを感じたい。スタートは平取町の「二風谷コタン」。有田焼や輪島塗など、国や指定する「伝統的工芸品」の中に、平取町の二風谷地区を産地とするアイヌ工芸品「二風谷イタ」「二風谷アットウシ」がある。受け継がれた伝統を知る「二風谷アイヌ文化博物館」の展示や、工芸家の作品を展示販売する「二風谷工芸館」、工芸体験ができる「アイヌ工

芸伝承館ウレシバ」などでその魅力にふれていきたい。

2時間ほど滞在した後は、登別温泉のロープウェイ山頂駅にある「のぼりべつクマ牧場」に向かい、旅の2日目の予習をする。アイヌの世界観では、ヒグマのカムイ(神)を特に重要なものと考えていた。二風谷やユウカラの里に復原されている建物には、昔の家屋とともに子グマを飼う檻もある。なぜだろう?その理由を想像しながら、夜は登別の湯宿を堪能したい。

「雑学集」

アイヌ
文化の旅

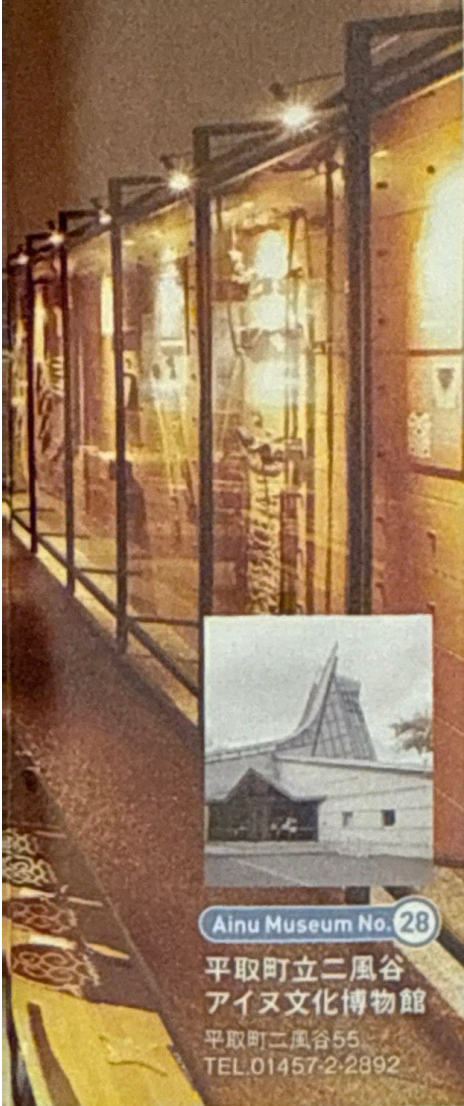
本州などとは異なる歴史を歩んだ北海道

本州以南では、紀元前4、5世紀ごろから水稲耕作などを行う弥生文化が大陸から伝わり、広がった。しかし北海道では人々が狩猟・採集などを定住生活を続けることがで

きたので、縄縄文化など本州以南とは異なる文化・生活様式の歴史を歩んだ。



新しい鮭を迎える伝統儀式と伝統漁法を再現する「アシリチェブノミ」体験会(平取町・2022年10月)



Ainu Museum No. 28

平取町立二風谷
アイヌ文化博物館

平取町二風谷55
TEL.01457-2-2892



工芸家の作品を
展示販売

Ainu Museum No. 30

二風谷工芸館

平取町字二風谷61-6
TEL.01457-2-3299



Ainu Museum No. 32

工芸体験が可能な施設

アイヌ工芸伝承館ウレシバ

平取町字二風谷77番地14 TEL.01457-3-7501

のぼりべつクマ牧場

登別市登別温泉町224番地
TEL.0143-84-2225



Ainu Museum No. 23

ユーカラの里
アイヌ生活資料館(のぼりべつクマ牧場)

登別市登別温泉町224番地
TEL.0143-84-2225(のぼりべつクマ牧場)



山の神と呼ばれた
ヒクマに会える



登別温泉街の極楽通り

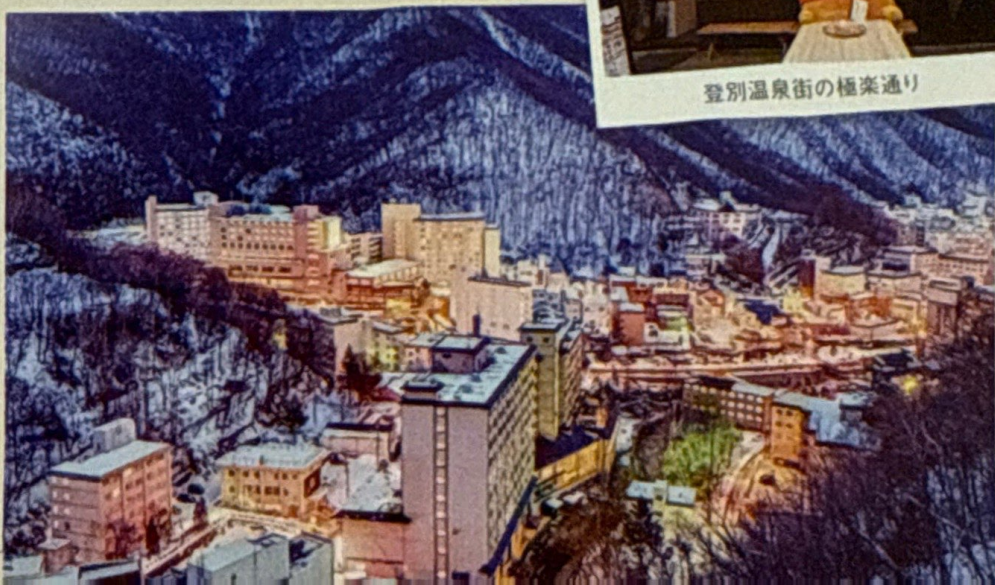
1日目スケジュール

- 12:00 早めに昼食を取り、平取町の二風谷コタンからスタート！アイヌ文化博物館、アイヌ工芸伝承館などを見学・体験。
- 14:00 二風谷コタンを出発。日高富川IC→登別東ICを利用
- 15:30 登別温泉街到着。ロープウェイの山麓駅から乗車し、山頂駅のクマ牧場とユーカラの里へ。
- 17:00 ロープウェイで山麓駅へ移動。登別温泉のホテルにチェックイン
- 18:00 温泉街をそぞろ歩き。ニポポ人形のはか工芸品の変遷を楽しんで夕食をとり、宿泊。

登別温泉

(登別観光案内所)

登別市登別温泉町60番地
TEL.0143-84-3311





アイヌ文化を
めぐる冒険の旅

in
道央

2
日
目



朝の地獄谷周辺をウォーキング

受け継いできた人と神(カムイ)との互惠関係

「道央の旅」2日目は、アイヌ文化の世界観を学びたい。まず朝は「地獄谷」へ出かけ、地球の迫力を感じてから朝食を。その後は「知里幸恵 銀のしずく記念館」へ出発。登別に生まれ、1922年に、今も広く読み継がれる『アイヌ神謡集』をまとめるも、この年に19歳の若さで亡くなった知里幸恵やそのゆかりの人々の生涯をたどる。次にウポポイへ向かい、国立アイヌ民族博物館を見学。アイヌ文化の伝統的な世界観にふれる。アイヌの信仰では、例えば熊の神(カムイ)は、人間への

贈り物として肉や毛皮をまとった熊の姿で人間の世界に行く。人間はその肉や毛皮をいただき、感謝のおもてなしをして、お土産となる供物をささげ、その魂をカムイの世界に送り返す儀式をする。カムイは、人間に丁寧にもてなされるほど品格が上がるとされる……そんな互惠関係があるとされる。そのおもてなしの際に披露される、古式舞踊も鑑賞しよう。北海道の縄文文化にも、動物などをうやまう精神文化があったとされる。千歳市埋蔵文化財センターにも寄っておきたい。

「雑学集」

アイヌ
文化の旅

道央の縄文遺跡(世界遺産構成資産)

貝塚は「縄文時代のゴミすて場」と教わった人も多いが、遺物がきれいに並べられるなど、ゴミすて場と思えない発見が進んでいる。現在は、食糧となった貝・魚・動物たち、使い終わった道具たちに

感謝をこめて、その魂をもとの場所に戻す場として考えられている。アイヌの人々の祖先は、その頃からこのような精神を持っていたのだ。

●千歳市【キウス周堤墓群】高い土手で

囲まれた共同墓地

- 伊達市【北黄金貝塚】内浦湾に面した大規模な貝塚を伴う集落跡
- 洞爺湖町【入江・高砂貝塚】共同の祭祀場や墓地を支えた集落跡

2日目スケジュール

- 07:00 地獄谷までウォーキング
- 08:00 朝食をとって出発
- 09:30 知里幸恵 銀のしずく記念館で
見学(または登別市観光交流
センター「ヌブル」から幸恵ゆか
りの地 散策コースを歩く)
- 11:00 出発。登別東IC→白老ICを利用
- 11:30 ウボボイ到着。
・カフェでアイヌ料理のランチ
・国立アイヌ民族博物館を見学
・体験交流ホールで古式舞踊鑑賞
- 14:30 出発。白老IC→千歳ICを利用
- 15:30 千歳市埋蔵文化財センター前
旧石器時代からアイヌ文化期
までを知る
- 16:30 行程終了

Ainu Museum No. 22

知里幸恵 銀のしずく記念館

登別市登別本町2丁目34-7
TEL.0143-83-5666



アイヌとしての民族意識と誇りをしっかりと持ち、アイヌ語を伝えるという使命を果たした知里幸恵の人生を紹介

ヌブルは駅前のカフェ付き観光案内所。知里幸恵記念館をご存じの方にはここからの散策コースがおすすめ。

登別市観光交流センター「ヌブル」

登別市登別港町1丁目4番地9
TEL.0143-50-6602

国立アイヌ民族博物館を見学
提供:公益財団法人 アイヌ民族文化財団



Ainu Museum No. 49

ウボボイ(民族共生象徴空間)

白老町若草町2丁目3
TEL.0144-82-3914



提供:公益財団法人 アイヌ民族文化財団



チエフオハウセット 1,400円

提供:公益財団法人 アイヌ民族文化財団
ウボボイ入口のカフェではアイヌ料理を提供。
カフェリムセ TEL.0144-85-2177

ウボボイの体験交流ホールで古式舞踊を鑑賞
提供:公益財団法人 アイヌ民族文化財団



写真は、美々4遺跡出土 縄文時代晩期
(動物形土製品(ビビちゃん))

千歳市埋蔵文化財センター

千歳市長都42-1 TEL. 0123-24-4210



カメ、水鳥、ムササビ、アザラシにも見える不思議な形をしている。祭りや祈りに関する遺物と考えられる。

アイヌ文化を
めぐる冒険の旅

in
道東

1
日目

本州にない 北方民族の文化を知る 道東の旅

オホーツク文化などがよくわかる
サロマ湖沿岸の道跡

ところ遺跡の館

北見市常呂町栄浦371番地
TEL 0152-54-3393



ヘビ、鳥、ひもの文様を貼ったオホーツク土器



アイヌ文化の源流と、現代の文化との融合を知る

「道東の旅」1日目は、時間の経過や他の民族との交流交易で現代に至ったアイヌ文化を見てみたい。スタートは北見市のカーリングで有名な常呂地区にある「ところ遺跡の館」。サロマ湖沿岸で発掘された縄文、続縄文、擦文の道具のほか、アイヌ文化に影響を与えた北方海洋民族「オホーツク人」の道具も展示。遺跡巡りもおすすめだ。

続いて網走市に移動し「北海道立北方民族博物

館」へ行く。ここでは、アイヌ民族ばかりでなく、世界の北方で暮らすさまざまな民族の資料が多数ある。衣服の文様などにはお互いに似た柄が見られるなど、お互いの交流が窺える。

1日目の最後、宿泊地の阿寒湖温泉は、アイヌ文化を背景に芸術芸能で活躍する人々を多く輩出した地。ぜひ民芸店や舞台を堪能したい。

／雑学集／

アイヌ
文化の旅

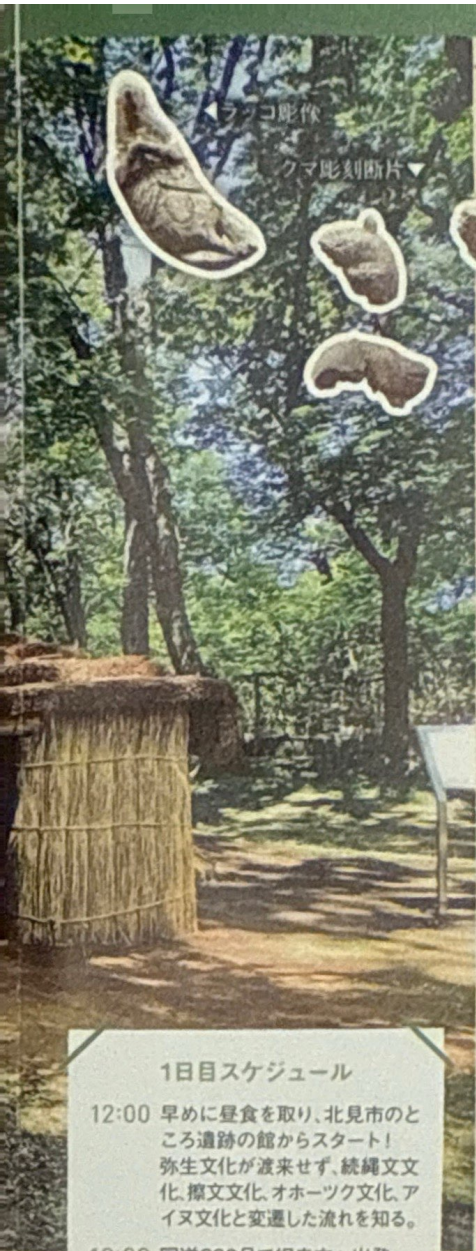
オシャレ度抜群の北方民族アイテム

かわいい民族衣装コレクションが楽しい北海道立北方民族博物館。北欧のサミ人や、極東アムール川流域のナナイ人など、その色と柄は必見もの。気になったのは、シンプルな生成り風の薄手パー

カー。学芸員さん曰く「雨がっぱですね。素材はアザラシやセイウチの内臓です」とのこと。「このフードが作られて、厳寒地での活動が可能になったんです」。洋服店などはない社会で、衣装作りは家族



の命を守る重要な手仕事。
ひと針ひと針に祈りが感じられた。



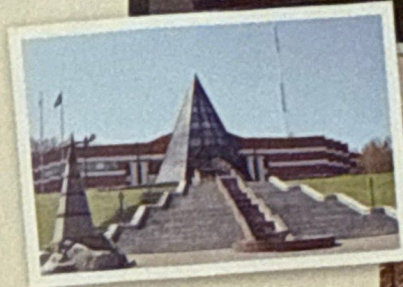
1日目スケジュール

- 12:00 早めに昼食を取り、北見市のところ遺跡の館からスタート！
弥生文化が渡来せず、縄文文化、弥生文化、オホーツク文化、アイヌ文化と変遷した流れを知る。
- 13:00 国道238号で網走市へ出発。
- 14:00 網走市の道立北方民族博物館にて、世界の北方諸民族やオホーツク文化について学ぶ。
- 15:00 国道240号で阿寒湖へ出発。
- 17:00 阿寒湖温泉のホテルにチェックイン
温泉街をそぞろ歩き、アイヌ工芸店での交流や、夕食、温泉を楽しむ。
- 20:00 阿寒湖アイヌシアターイコロで、ステージ鑑賞。終了後ホテル泊

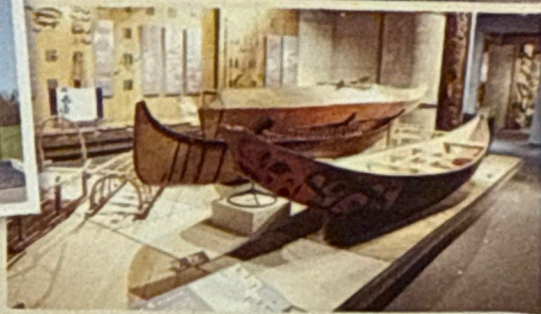
Ainu Museum No. 37

阿寒湖アイヌシアターイコロ

釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目7-84
TEL.0154-67-2727
(阿寒アイヌ工芸協同組合)



世界の北方民族の文化が展示されている。



Ainu Museum No. 14

北海道立北方民族博物館

網走市潮見309-1 TEL.0152-45-3888



アイヌ文化の世界発信を続ける、いわば「アーティスト村」のような場所だ。

阿寒湖アイヌコタン

釧路市阿寒町阿寒湖温泉4-7-19
TEL. 0154-67-2727 (阿寒アイヌ工芸協同組合)



阿寒湖温泉

釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁目6-20
TEL.0154-67-3200
(NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構)



アイヌ文化を
めぐる冒険の旅

in
道東

2日目



舟で海を渡った先人たちの視点で感じてみよう

「道東の旅」2日目は、アイヌ民族が交流交易や海獣狩猟・漁労に舟を使った頃に思いを馳せたい。朝は早めに阿寒湖を離れ、予約した釧路湿原カヌーの事業者さん「釧路マーシュ&リバー」が待つJR塘路駅前へ向かう。釧路川支流でのカヌーツアーで、釧路湿原の自然の中を漕ぎ進んだ明治以前のアイヌの人々の舟旅を追体験する。

終了後は「釧路市立博物館」に移動する。ここで

は、道東ならではの自然と動物たち、人々の生活交遷を展示物で紹介。ミンククジラ骨格(クジラはアイヌ民族の海獣狩の捕獲対象のひとつ)と、イタオマチブ(板綴船=アイヌの人々の海洋船)は必見だ。

そしてラストは炉端焼きのランチ。「鮭番屋」では、スタッフが近海の幸などを絶妙な加減で炭火焼きしている。ホッケやシシャモは骨や皮も残さず食べて、カムイに感謝。

雑学集/

アイヌ
文化の旅

いざ航海、交易品で暮らしを豊かに

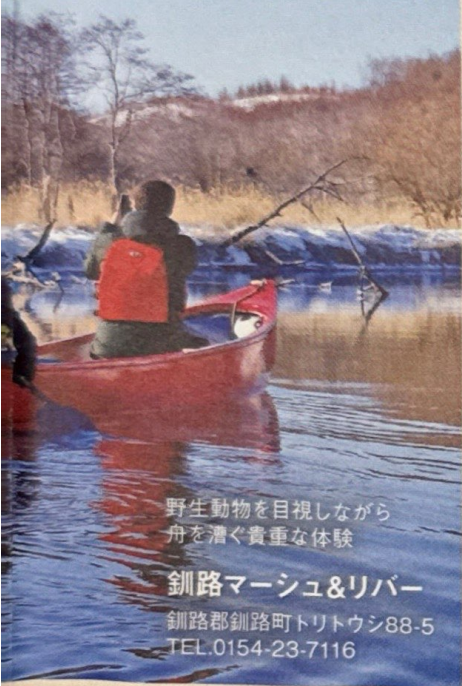
縄文文化の頃から人々は海を渡り、物々交換で北海道にないものを手に入れた。縄文遺跡からはヒスイ(産地:新潟県糸魚川地方)が、続縄文遺跡からはコハク(産地:樺太、岩手県久慈地方お

よび千葉県銚子地方)が出土した。アイヌ文化期に移ってからは、平安末期の奥州藤原氏をはじめ、江戸時代にはアムール川流域と交易してシルク製の清朝(中国)の官服を手に入れていた。で

は、先住民たちは北海道から何を持っていたのか? 獣の毛皮や矢羽・鷹狩用の鳥もあるが、干した鮭や昆布など水産加工品がやはり主力。昔も今も「北海道物産」は人気だった。



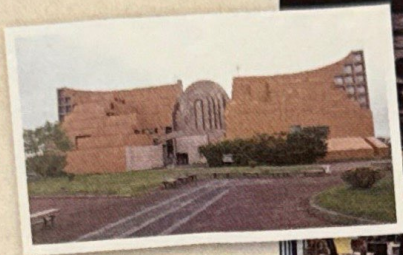
取材したのは、1月
～5月限定コース。
6月からはカヌー
体験場所、集合場
所、出発時間が異
なるので、お問い
合わせを。



野生動物を目視しながら
舟を漕ぐ貴重な体験

釧路マーシュ&リバー

釧路郡釧路町トリトウシ88-5
TEL.0154-23-7116

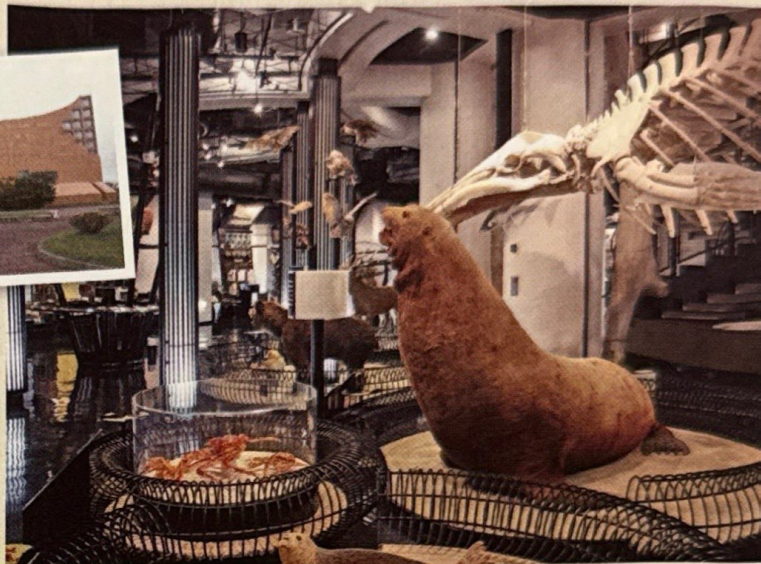


釧路ならではの自然と
歴史を紹介

Ainu Museum No. 39

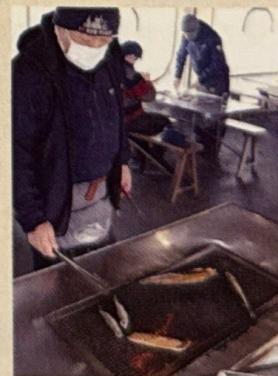
釧路市立博物館

釧路市春湖台1-7
TEL.0154-41-5809



2日目スケジュール

- 07:00 早めに朝食を取り、ホテル出発。
国道241号を進み、弟子屈町で
国道391号に入り、JR塘路駅へ
- 09:30 釧路湿原カヌー体験。古代の
人々の移動手段・手漕ぎ舟を追
体験
- 10:30 国道391号で釧路市立博物館へ。
- 11:00 釧路市立博物館で、道東の海
洋生物や、アイヌ民族の海洋船
「イタオマチブ」を見学。
- 12:30 ランチのため出発。喰処 鮭番
屋(シャケ番屋)にて、地元名物
ろばた焼きでランチをとる。
先人と同じ直火スタイルで近
海の海鮮を堪能
- 13:30 行程終了



骨も皮もおいしく
焼いてくれる

しゃけばん や
喰処 鮭番屋

釧路市浜町4-11
TEL.0154-25-0503



アイヌ文化を
めぐる冒険の旅

in
道北

1
日
目

伝承や伝説の地を訪れる 道北の旅



「日本遺産」上川アイヌが受け継ぐ日常にふれる

「道北の旅」1日目は、旭川にある石狩川の景勝地「神居古潭」や、その上流に住む上川アイヌの伝承や文化を体験したい。スタートは「旭川市博物館」。ヨシではなく笹で作られる伝統家屋「チセ」や、蒙古襲来より10年早く元とアイヌが戦ったと考えられる記録など、他の地域にはない展示品が興味深い。

次に「川村カ子トアイヌ記念館」へ移動。囲炉裏の火に心安らぐ「チセ」の室内や、古式舞踊、楽器、刺

繍、料理の体験プログラムなど、アイヌの人々が今、日常や行事で行う伝統を経験できる。

続いて「神居古潭」へと向かい、吊り橋を散策。奇岩の絶景と同時に、古くから交通難所として知られ、数々のアイヌの伝説が残される。

1日目の宿泊は、同じく伝説の地・大雪山連峰(神々が遊ぶ庭)の「旭岳温泉」。道の途中で湧き水を楽しんで、神々の恵みを実感いただきたい。

／ 雑学集 ／

アイヌ
文化の旅

西蝦夷地域の文化を残す旭川地域の上川アイヌ

松前藩は、主な経済基盤をアイヌ交易に置き、蝦夷島(北海道)を渡島半島西南部の「松前地(和人居住地)」とそれ以外の「蝦夷地(アイヌ居住地)」に分けた。さらに、太平洋沿岸～知床半島南部を「東蝦

夷地」、日本海沿岸～オホーツク海沿岸～知床半島北部を「西蝦夷地」に分けた。この西蝦夷地は、歴史的に和人の圧迫が激しく、アイヌの人口は減少。その文化、方言のほとんどが失われた。現在、一般的に知

られるアイヌ文化は東蝦夷地のものだが、旭川地域は、西蝦夷地域のアイヌ文化が残されてきた数少ない地域の一つである。

※旭川市ホームページ「旭川地域のアイヌの人々の生活空間とアイヌ文化」から抜粋、再編集。



Ainu Museum No. 09

旭川市博物館

旭川市神楽3条7丁目
(大雪クリスタルホール内)
TEL.0166-69-2004



旭川地域のアイヌの特徴や、北方民族コレクションを紹介

アイヌ文化の資料館として、日本最古の施設

Ainu Museum No. 08

川村カ子ト アイヌ記念館

旭川市北門町11丁目
TEL.0166-51-2461



1日目スケジュール

- 12:00 早めに昼食を取り、旭川市の旭川市博物館からスタート！
縄文やアイヌ文化などを見学。
神居古潭の伝説もチェック。
- 13:00 川村カ子トアイヌ記念館にて、
館内とチセ見学、体験プログラム
(ムックル制作&演奏プログラム)
- 15:00 記念館を出発。神居古潭へ。
- 15:30 神居古潭到着。アイヌ伝承地や
JR駅舎跡などを散策。
- 17:00 旭岳温泉に向かって出発。
- 18:30 旭岳温泉のホテル到着。
夕食をとり宿泊。



魔神と英雄神の伝説

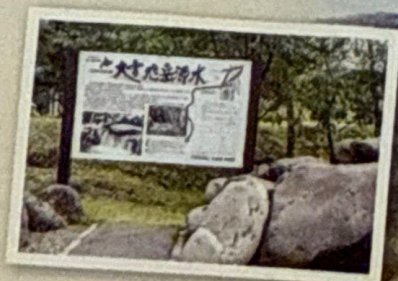
神居古潭(カムイコタン)

旭川市神居町神居古潭

大雪山連峰の最高峰「旭岳」への登山に人気の温泉郷

旭岳温泉

東川町旭岳温泉
TEL.0166-82-3761
(ひがしかわ観光協会)





旭岳登山

東川町旭岳温泉
TEL.0166-97-2153
(旭岳ビジターセンター)

大雪山をプロデュースした神々の遊び心を楽しむ

「道北の旅」2日目は、北海道の真ん中にある、地域のアイヌの人々にとっての聖地の一つとされる、大雪山連峰の最高峰「旭岳」に登りたい。大雪山連峰はカムイミタラと呼ばれ、その意味は「神々の遊ぶ庭」。季節の移ろいで変わる植物の色彩は、神がかった芸術世界。山に来た者だけが見ることのできる特権だ。登山装備がなくても、ロープウェイ駅の周辺を散策するだけで、高山植物や沼の様相を楽しめる。

遅めの昼食には、昔も今もアイヌの人々の定番シカ肉料理を狙いたい。今回行ったのは、旭川中心部の「ジビエバルYAMAGAMI」。赤身肉を柔らかく焼いたステーキもいいが、パンチがほしい方にはレアカツもぜひ試して。腕のいい料理にシカ肉への認識が変わるはずだ。シカ肉料理は、不定期的に東川町内のレストランでも提供されているので、機会があればそちらもおすすめしたい。

雑学集

アイヌ文化の旅

アイヌ文化発信拠点を結ぶユーカラ街道

ウポポイのある白老を核として、北海道各地のアイヌ文化発信拠点を広域で周遊するルート「ユーカラ街道」が現在整備されつつある。平取の民芸品、阿寒のエンターテインメント、旭川のアクティビティ、札幌の都市とアート

など、アイヌ文化に関する情報発信や観光客受入の拠点となる道内5地域が、その特性や得意領域を磨き上げ、ガイドを要請し、プレミアムな旅行を楽しんでもらおうという取り組みだ。ニュージーランドやカナダでは、先住民族の文

化の継承・復興が比較的早くから取り組まれ、文化の理解を踏まえた観光が推進されている。日本でも、アイヌ文化の継承や復興を志した魅力の発信が、ようやくその歩みを始めるつつある。



地上にない植物の季節で変わる色と姿はまさに神の仕掛け



2日目スケジュール

- 08:00 朝食を済ませ、水筒・携行食など装備を整え、ロープウェイに乗車
- 08:30 ロープウェイ姿見駅から登山スタート。
- 10:30 旭岳山頂に到着。休憩後下山する。
- 13:00 ロープウェイ姿見駅到着。乗車後山麓駅で降り、旭川へ向かう。
- 14:30 ジビエバルYAMAGAMIにて、エゾシカランチ。
- 15:30 行程終了



旭岳の登山に欠かせない交通サービス



旭岳ロープウェイ

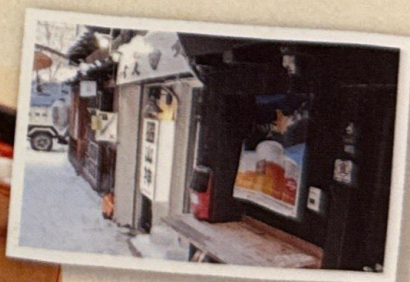
東川町旭岳温泉 TEL.0166-68-9111



エゾ鹿レアカツ



エゾ鹿ステーキ



ジビエバル YAMAGAMI

旭川市5条通7丁目旭川
5・7小路 ふらりと
TEL.080-9330-6320

広く知られていない 歴史をひも解く 道南の旅



アイヌの歴史や文化は、画一的なものではなく、地域によってさまざまなすがたであることがわかる



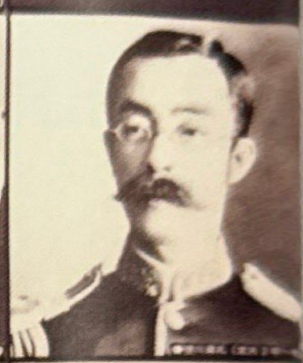
●開拓地事務所前の今昔状



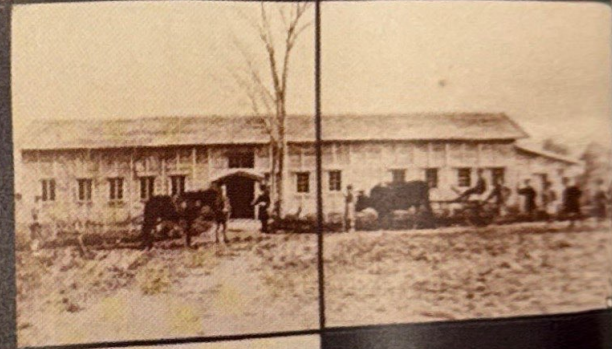
●宮田知行

●月岡弘重

●片岡勘作



●徳川義親 (文政11年)



学校では教わらないアイヌと和人の貴重な記録

「道南の旅」1日目は、アイヌの人々と和人との関係を考察する旅をしたい。スタートは、尾張徳川家の旧臣が入植したことで知られる八雲町の「郷土資料館」。落部アイヌの「^{べんかいだこ じろう}辨開風次郎」が八甲田山遭難事件の捜索に加わり、遊楽部アイヌの「^{しいくとしぞう}椎久年蔵」が尾張徳川家当主・徳川義親の熊狩に同行するなどその活動を支えた等のエピソードにふれたい。

次は「函館どさんこファーム」に向かう。寛政年間

以降、和人が蝦夷地に馬を持ち込み、アイヌの人々も飼育使役したという日本在来種の「どさんこ」で、山間部を乗馬トレッキングする。

続いて函館の博物館へ出発。アイヌ関連の展示物が豊富な「函館市北方民族資料館」もよいが、余裕があれば、函館独自の歴史と春の桜を楽しめる「市立函館博物館」にも寄りたい。この日の宿泊は老舗旅館の多い「湯の川温泉」がおすすめだ。

雑学集 /

アイヌ
文化の旅

極寒を生きぬくアイヌの知恵

1902年、対ロシア戦に備えた青森県八甲田山での雪中行軍の訓練中、歩兵連隊が遭難した際、八雲町落部アイヌのリーダー・辨開風次郎らが協力し、危険をとまなう捜索を進んで担い、遭難者の

発見などに大きな貢献をした。また、白瀬蘆の南極探検隊では、樺太アイヌのリーダー・山辺安之助と花守信吉が大ぞりを率いて参加した。どちらも、アイヌの人々が極寒の地で果敢に活動したこ

とが、歴史上の大きな事件の対応や事業に貢献している。多様性の大切さが改めて認識されるべき現代において、これまでの歴史で実際にあったこうした出来事は、大事な教訓にもなるはずだ。



江戸時代にアイヌの人々も乗った「どさんこ」でトレッキング

函館どさんこファーム

函館市東山町180-14
TEL.0138-30-1035

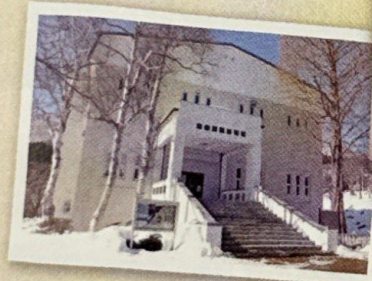


Ainu Museum No. 7

八雲町郷土資料館・木彫り熊資料館

八雲町末広町154
TEL.0137-63-3131

江戸後期、アイヌ文化が和人社会に影響を与えたことがわかる(「蝦夷島奇観」より)



市立函館博物館

函館市青柳町17-1 TEL.0138-23-5480

1日目スケジュール

12:00 早めに昼食を取り、八雲町の八雲町郷土資料館・木彫り熊資料館を見学

12:40 出発し函館に向かう

14:00 函館どさんこファームで乗馬。寛政年間以降に和人が導入し、アイヌの人々にも広まった道産子馬を乗馬体験する。

15:00 出発し函館市街地へ向かう

15:40 函館市北方民族資料館を見学。アイヌの人々を描いた巻物や蝦夷錦などコレクション多数。(4月~10月は市立函館博物館を先に見るのがおすすめ)

18:00 函館湯の川温泉で宿泊



圧倒的な資料の量はい時間忘れ

Ainu Museum No. 6

函館市北方民族資料館

函館市末広町21-7
TEL.0138-22-4128



湯の川温泉

函館市湯川町2丁目7番6号
TEL.0138-57-8988
(函館湯の川温泉旅館協同組合)



アイヌ文化を
めぐる冒険の旅

in 道南

2日目



数千年前に北海道で暮らした人々の、いにしえの物語

「道南の旅」2日目は、「縄文文化」がテーマ。早めの朝食の後ホテルを出発し、目指すは「函館市縄文文化交流センター」。実はここ、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する紀元前5千年頃の「垣ノ島遺跡」に隣接し、館内コースの最後には「国宝中空土偶」が登場。土器に漆を塗るなど、当時の技術力の高さが伺える。

続いて車で7分ほど移動し、紀元前2千年頃の「大

船遺跡」へ。竪穴住居の大型建築物跡や大量の遺物が発掘された遺跡だ。復元した竪穴住居を案内係によるガイドで見学可能だ。

ツアーの最後は、車で15分先にある「道の駅しかべ間歇泉公園」。かなり魚好きだったと想像できる数千年前の人々に思いを馳せてランチを注文。やさしく食べ飽きない浜の母さんの味を堪能しよう。

／雑学集／

アイヌ
文化の旅

道南の縄文遺跡(世界遺産構成資産)

縄文人の文化は、世界史的にもユニーク。弓矢、釣り針、銚子などを使った食料確保と、土器の発明で食料貯蔵や「煮る」調理法が始まり、人々は豊かな定住生活を始めた。遺跡にあるお墓からは、石器

や土器や土偶のほか、漆塗りの製品や、石や貝製品のアクセサリが出土された。亡くなった人の魂を送り出す高い精神性が伺える。

●函館市【大船遺跡】祭祀場が発達した

縄文集落跡

●函館市【垣ノ島遺跡】居住域と墓域の分離を示す集落跡

●森町【鷺ノ木遺跡】(関連資産)北海道最大規模の環状列石



垣ノ島遺跡に面し、国宝を展示するハイレベルな博物館

函館市縄文文化交流センター

函館市白尻町551-1 TEL.0138-25-2030



ガイドを聞くと、その価値が
とてもよくわかる



2日目スケジュール

- 08:00 朝食後、函館市の南茅部へ出発
- 09:00 函館市縄文文化交流センター
で展示室見学。併設の垣ノ島
遺跡見学や、道の駅で縄文ス
イーツ土産も楽しい。
- 11:00 大船遺跡へ移動。大型竪穴建
物跡をガイド付きで見学。
- 12:30 道の駅しかべ間歌泉公園にて
地元の海の幸ランチを。
- 13:30 行程終了



大船遺跡

函館市大船町
TEL.0138-25-2030(函館市縄文文化交流センター)



近海の食材を家庭料理で食べる有名
スポット

道の駅 しかべ間歌泉公園

鹿部町鹿部18番地1
TEL.01372-7-5655

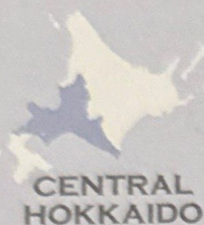




アイヌ文化の魅力を「食」を通じて広く発信することを目的としたプロジェクト

AINU NOUVELLE CUISINE

—— アイヌ・ヌーベル・キュイジーヌ ——



アイヌ伝統料理
現代アレンジメニュー

in 道央



監修 | アイヌ料理伝統継承者

多原 良子さん Ryoko Tahara

札幌市在住。アイヌ女性が受け継いできた独自のアイヌ文化を広く発信し、先住民族の食の知恵を生かしていけるような様々なイベントを開催している。



札幌プリンスホテル
buffetレストラン ハブナ

料理長 橋本 禎嗣さん

2018年 札幌プリンスホテル 料理長。NY フレンチレストラン「BOULEY」研修、海外 MOFシェフとのコラボレーション多数。エスコフィエ協会会員/司厨士協会会員。



海空のハル すすきの店

料理長 崎本 俊介さん

えりも町生まれ。数々の飲食店経験に培われた料理レパートリーの中でも、海鮮系とラーメンに強いこだわりを持つ。北海道を愛し、地域の生産者を受す料理人。

◆◆◆◆◆ 橋本シェフのアレンジメニュー ◆◆◆◆◆

- ・ユクのサヨ ・チポロシト
- ・エント茶のジュレ



ベースとなった
アイヌ伝統料理 | サヨ・チポロシト・エント茶

昆布で炊いた「ユク(シカ肉)」をのせた「サヨ(汁粥)」と、いももちにイクラをのせた「チポロシト」、野草茶「エント茶」ジュレを順次朝食メニューで提供。

提供店

札幌プリンスホテル buffetレストラン ハブナ



札幌市中央区南2条西11丁目
TEL.011-241-1111
朝食buffetで提供
6:00~10:00

◆◆◆◆◆ 崎本シェフのアレンジメニュー ◆◆◆◆◆

- ・体験型オハウしゃぶしゃぶ



ベースとなった
アイヌ伝統料理 | オハウ

鮭のアラと昆布で作ったスープに、鮭の切り身をしゃぶしゃぶでいただく。定番料理「チェブオハウ(鮭の汁物)」の新しいアレンジメニュー。

提供店

海空のハル 札幌すすきの店



札幌市中央区南4条西5丁目8
F45ビルB1F
TEL.011-231-6868
17:00~23:30(L.O.23:00)
日曜休

コンセプトムービーは、
こちらから
ご覧いただけます。



各ホテル・店舗での提供期間

2023.3.10(金)～
1年間開催!!

※店舗によって期間が異なる場合があります。

味・香り・食感で美味しく
楽しく、アイヌ文化に
触れてみてください!



アイヌ伝統料理
現代アレンジメニュー

in 道東



監修 | アイヌ料理伝統継承者

床 みどりさん Midori Toko

釧路市阿寒町在住。アイヌ文化伝承者。母であるアイヌ文化伝承者 故・遠山サキ子さんから、アイヌ文化の食・芸能・工芸を継承し、浦河・阿寒両地方のアイヌ文化に精通。



釧路プリンスホテル
レストラン トップオブクシロ

料理長 笠井 康行さん

1992年 株式会社コクド 釧路プリンスホテル入社。2008年 株式会社トップオブ釧路 転籍。2021年 一般社団法人全日本司厨士協会 北海道全調理師会理事長表彰。



海空のハル 美幌峠・道の駅店

料理長 桑原 孝昭さん

札幌市で北海道の酒と道産食材の料理を提供する「海空のハル」2号店の料理長。鹿・熊・鴨などのジビエ料理をはじめ、地域食材の良さを最大限引き出す創作料理を得意とする料理人。

◆◆◆◆◆ 笠井シェフのアレンジメニュー ◆◆◆◆◆

- ・イワシのつみれ入りオハウ
- ・いなきびご飯



ベースとなった
アイヌ伝統料理 | オハウ・いなきびご飯

イワシをつみれにして、昆布出汁と塩だけで味を整えた「オハウ(汁物)」。お出汁の香りが、「いなきびご飯」のやさしい味と相性抜群。

提供店

釧路プリンスホテル トップオブクシロ



釧路市幸町7-1
TEL.0154-31-1111
朝食buffetで提供。
7:00～9:30

◆◆◆◆◆ 桑原シェフのアレンジメニュー ◆◆◆◆◆

- ・シラリのベイクドケーキ



ベースとなった
アイヌ伝統料理 | シラリ

神への供物であるどぶろく酒「トノト」の酒粕「シラリ」を使ったバウンドケーキ。美容効果が期待でき、注目を集める酒粕を、スイーツで召し上がれ。

提供店

海空のハル 美幌峠・道の駅店



網走郡美幌町字古梅
ぐるっとパノラマ美幌峠1F
TEL.0152-77-6001
11:00～18:00(L.O.17:00)
年末年始休



アイヌ文化の魅力を「食」を通じて広く発信することを目的としたプロジェクト

AINU NOUVELLE CUISINE

—— アイヌ・ヌーベル・キュイジーヌ ——

NORTH
HOKKAIDO

アイヌ伝統料理
現代アレンジメニュー

in 道北



監修 | アイヌ料理伝統継承者

川村 久恵さん Hisae Kawamura

旭川市在住。「川村カ子トアイヌ記念館」副館長を務め、4人組の女性ヴォーカルグループ「マレ ウレウ」のメンバーとしても活躍。多方面にわたり文化の伝承活動に取り組む。



新富良野プリンスホテル
メインバンケットホール

料理長 小川 守哉さん

学生時代のアルバイトをきっかけに料理人を目指す。30年を超える経験を持ち、東京のプリンスホテルから今春新富良野プリンスホテルへ。料理長として腕を振るう。



Risotteria.GAKU tre

シェフ 藤井 巧太さん

旬を大切にしながら、北海道の米や野菜の旨味を最大限に引き出し、日本人の好みに合わせて仕上げたリゾットを楽しめるリゾット専門店「Risotteria.GAKU tre」のシェフ。

◆◆◆◆ 小川シェフのアレンジメニュー ◆◆◆◆

- ・ラム・鶏・豚の肉オハウ
- ・十五穀米のラムカレー ・チポロポテトサラダ



ベースとなった
アイヌ伝統料理

オハウ・アマム・チポロシト

お肉たっぷりの「オハウ(汁物)」、「チポロ(いくら)」をのせたポテトサラダと、ホテルオリジナル十五穀米のラムカレーはスパイシーに仕上げました。

提供店

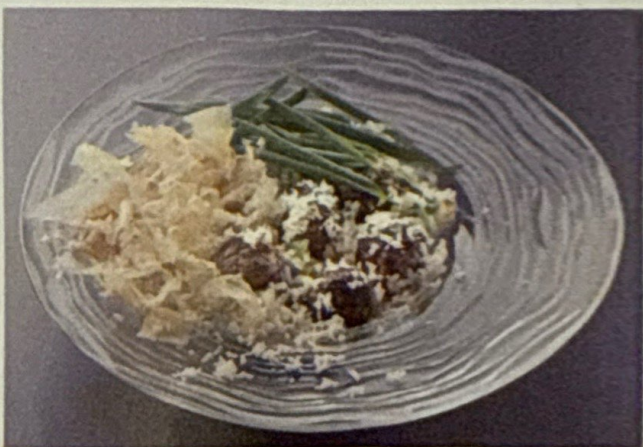
新富良野プリンスホテル



富良野市中御料
TEL.0167-22-1111
buffet会場提供
17:30~21:00(L.O.20:30)

◆◆◆◆ 藤井シェフのアレンジメニュー ◆◆◆◆

- ・エゾシカのチタタブと鮭節のオハウリゾット
- ～山わさびの香りを添えて～



ベースとなった
アイヌ伝統料理

オハウ・サヨ・チタタブ

鮭節を使ったスープでリゾットを仕上げ、エゾシカのチタタブと合わせた新たなメニュー「オハウリゾット」。山わさびがシカ肉の赤身とマッチ。

提供店

Risotteria. GAKU tre



旭川市4条通20丁目1720-4
TEL.0166-85-6391
11:00~21:30(L.O.21:00)
木曜休

コンセプトムービーは、
こちらから
ご覧いただけます。



各ホテル・店舗での提供期間

2023.3.10(金)～
1年間開催!!

※店舗によって期間が異なる場合があります。

味・香り・食感で美味しく
楽しく、アイヌ文化に
触れてみてください!



SOUTH
HOKKAIDO

アイヌ伝統料理
現代アレンジメニュー

in 道南



|監修|アイヌ料理
伝統継承者

宇治 義之さん
Yoshiyuki Uji

豊浦アイヌ協会の会長である宇治義之氏とアイヌ伝統料理に精通している同協会
藤村ゆか氏が監修。



|監修|アイヌ料理
伝統継承者

藤村 ゆかさん
Yuka Fujimura



函館大沼プリンスホテル
メインダイニングルーム

料理長 杉村 直紀さん

1997年 函館大沼プリンスホテル入社。
長年の経験と知識から生み出される料理
で、日々函館大沼プリンスホテル料理長
として腕を振るう。



和×燻製 輝なり

オーナー兼料理長
白戸 光さん

42才。函館でも注目の若手料理人。函館
新グルメ「函館ブリたれカツバーガー」の
商品開発にも携わる。

◆◆◆◆◆ 杉村シェフのアレンジメニュー ◆◆◆◆◆

・シラリシトのハスカップ風味
ふたつの味わい



ベースとなった
アイヌ伝統料理 | シト

白玉入りハスカップぜんざいと、焼き団子のハスカップ
ソースがけ。「シラリ(酒粕)」を練り込んだ「シト(団
子)」を2つの味で楽しめる。

提供店

函館大沼プリンスホテル



七飯町西大沼温泉
TEL.0138-67-1111
朝食buffetで提供。
7:00～9:30(L.O.9:00)

◆◆◆◆◆ 白戸シェフのアレンジメニュー ◆◆◆◆◆

・帆立の燻製とキノコのオハウ



ベースとなった
アイヌ伝統料理 | オハウ

帆立燻製とキノコといううまい出汁が出る具材に、メー
クインと上新粉を練った団子をアクセントにした汁物。
出汁の上品さと、具材の香り、食感を堪能できる。

提供店

和×燻製 輝なり



函館市本町21-6
TEL.0138-84-5157
18:00～23:30(L.O.23:00)
火曜休※月曜が祝日の場合は日月火曜休

さらに深く知って、
楽しむための情報サイト



Catch! Hokkaido

<http://catch-hokkaido.jp/ainu.html>

アイヌカルチャーキャンペーン

検索

スマホで
読んで



サイトへ
アクセス

まだ知られていない歴史や文化の足跡を訪ね、さまざまな北海道を楽しむ企画を展開している「Catch! Hokkaidoキャンペーン」。このウェブサイトでは、2023年3月からアイヌ文化の新しいコンテンツが公開されます。その一部を誌面で紹介します！

本誌の
デジタルブックも
掲載中！



アイヌミュージアム バーチャルガイド

アイヌ文化施設をまとめた「アイヌミュージアムバーチャルガイド」。各施設の360度映像を通し、まるで実際に見学しているような体験ができます。



アイヌ関連施設一覧



01
札幌市アイヌ文化交流センター
(サッポロビライコタン)
札幌市



02
北海道立アイヌ総合センター
札幌市



03
アイヌ文化を発信する空間
(ミナパ)
札幌市



04
帯広市郷土資料館
帯広市



05
北海道立歴史文化財センター
江別市

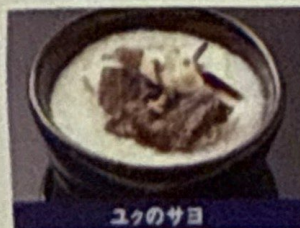


06
函館市北方歴史資料館
函館市



アイヌ食文化を楽しむ

本誌P22～25で紹介した「Ainu Nouvelle Cuisine」を、ご家庭でも楽しめるようなレシピにリニューアル。アイヌ料理の魅力を味覚で味わってください。



ユクのサヨ



チボロシト



エント茶のジュレ



体験型オハウ



イワシのつみれ入りオハウ



シラリのベイクドケーキ



ラム・鶏・豚の肉オハウ



十五穀米のラムカレー



チボロポテトサラダ



エゾシカのチタッタとヒシキのオハウ
～山わさびの香りを添えて～



シラリシトのハッカフ風味ふたつの味わい



帆立の燻製とキノコのオハウ

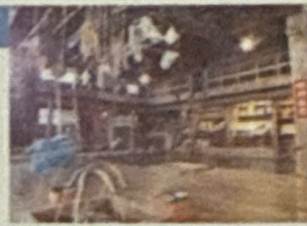
ぜひご家庭で作ってみませんか？

アイヌ文化探訪 モデルコース

本誌P6～21のモデルコースから一歩進んで、さらにアイヌ文化を深掘りできるモデルコースをご紹介します。ゆっくり旅して、アイヌ文化に浸りましょう。

●札幌発着 2泊3日コース

アイヌの サステナブルな 世界観に出会う旅



「自然と共生する」というアイヌの世界観、自然観を体験する——。「共生」の歴史や、植物の特性に応じて衣食住や薬に活用したアイヌの知恵を学び、響き合う音楽や民族の歴史が培った造形が織りなす多彩な表現から、その存在感とメッセージを実感する。

●道南～道央 周遊 3泊4日コース

道南から道央へ、 アイヌの歴史と 温泉を巡るツアー



いまこそ知りたい、アイヌの歴史の数々——。渡島半島に残されている知られざる歴史のコレクション、和人と人の戦いの舞台、木彫り彫発祥の地、今に語り継がれる「アイヌ神謡集」を遺した女性——。北の大地に息づくアイヌの真実を、癒しとくつろぎの湯とともに巡る。

●釧路駅発着 2泊3日コース

深淵なる アイヌの聖地で、 アイヌの人々の 営みに浸る



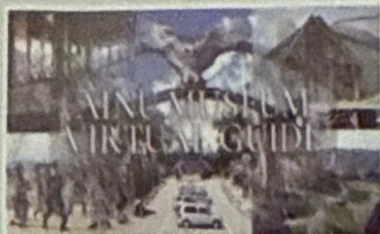
アイヌの人々の営みに浸り、築き上げた歴史と文化の奥深さを堪能する——。伝統文化を受け継ぎ数多くのアイヌの人々が生活を営む阿寒湖アイヌコタン。暮らしを営む場であり、アイヌ文化を体感できるこの地で、自然と人々と敬うアイヌ民族の心に寄り添う。

●旭川駅発着 2泊3日コース

カムイとともに 生きた上川アイヌの 物語を、アクティブに 紡ぐ3日間



自然、衣、食、住、信仰、言葉……深淵なるアイヌの世界——。アイヌ民族が崇拝と畏怖の対象とした大雪山は、雄大な大自然が広がり、神をも魅了する神秘的な力を持つ。ツアーでは、そのふところに伝承される上川アイヌの世界の数々をひも解いていく。



北海道歴史文化ポータルサイト あかれんが

アイヌミュージアム バーチャルガイド



<https://www.akarenaga.jp/ainu-virtual/>

全道のアイヌ関連施設のうち、代表的な施設をご紹介します。

スマホでQRコードを読み取ると、360° 画像などの詳しい施設情報が表示されます。

道央 AINU MUSEUM エリア

サステナブルを考える現代に、
学びたいアイヌ文化が
多く伝承されているエリア



1

札幌市アイヌ文化
交流センター
「サッポロピリカコタン」

札幌市南区小金湯27
TEL.011-596-5961



札幌市

2

北海道立
アイヌ総合センター

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7ビル7階
TEL.011-221-0462



札幌市

3

アイヌ文化を
発信する空間「ミナバ」

札幌市営地下鉄札幌南北線さっぽろ駅構内
TEL.011-211-2277



札幌市

4

恵庭市郷土資料館

恵庭市南島松157-2
TEL.0123-37-1288



恵庭市

5

北海道立
埋蔵文化財センター

江別市西野幌685-1
TEL.011-386-3231



江別市

19

苫小牧市
美術博物館

苫小牧市末広町3-9-7
TEL.0144-35-2550



苫小牧市

20

軽舞遺跡 調査整理事務所 (旧軽舞小学校)

厚真町字軽舞205-2
TEL.0145-28-2733



厚真町

21

しらおいイオル事務所 チキサニ

白老町末広町2-6-4
TEL.0144-82-6301



白老町

22

知里幸恵 銀のしずく記念館

登別市登別本町2丁目34-7
TEL.0143-83-5666



登別市

23

ユーカラの里 アイヌ生活資料館 (のぼりベツクマ牧場)

登別市登別温泉町224番地
TEL.0143-84-2225(のぼりベツクマ牧場)



登別市

24

登別市郷土資料館

登別市片倉町6丁目27-2
TEL.0143-88-1339



登別市

25

室蘭市民俗資料館

室蘭市陣屋町2丁目4番25号
TEL.0143-59-4922



室蘭市

26

室蘭市 イタンキ生活館

室蘭市東町3丁目13番26号
TEL.0143-25-2872



室蘭市

27

洞爺湖町 アイヌ民族共生拠点施設 「ウトウラノ」

洞爺湖町本町1番地1
TEL.0142-76-2794



洞爺湖町

28

平取町立 二風谷アイヌ文化博物館

平取町二風谷55
TEL.01457-2-2892



平取町

29

アイヌの伝統と 近代開拓による 沙流川流域の文化的景観

平取町内 TEL.01457-2-2892
(平取町立二風谷アイヌ文化博物館)



平取町

30

二風谷工芸館

平取町字二風谷61-6
TEL.01457-2-3299



平取町

31

萱野茂 二風谷アイヌ資料館

平取町二風谷79
TEL.01457-2-3215



平取町

32

アイヌ工芸伝承館 ウレシバ

平取町字二風谷77番地14
TEL.01457-3-7501



平取町

48

北海道博物館

札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
TEL.011-898-0466



札幌市

49

ウボポイ (民族共生象徴空間)

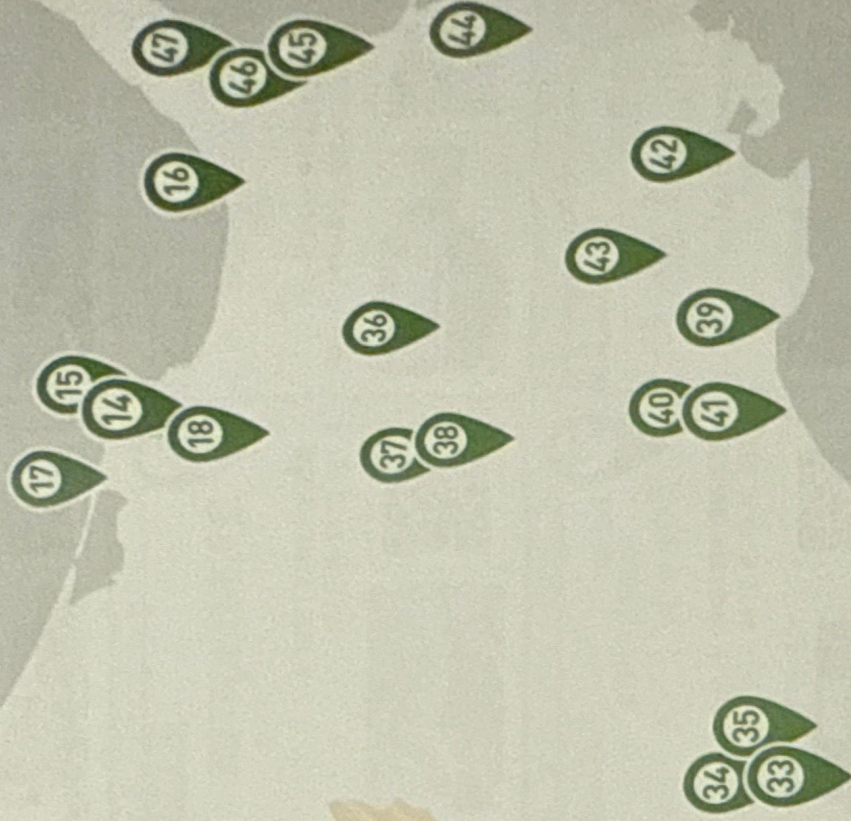
白老町若草町2丁目3
TEL.0144-82-3914



白老町

道東 AINU MUSEUM エリア

時の流れや民族同士の
交流で変遷した
先住民文化を知るエリア



14

北海道立
北方民族博物館

網走市字潮見309-1
TEL.0152-45-3888



網走市

15

網走市立
郷土博物館

網走市桂町1丁目1番3号
TEL.0152-43-3090



網走市

17

ところ遺跡の森

北見市常呂町字栄浦371番地
TEL.0152-54-3393



北見市

18

美幌博物館

美幌町字美倉253-4
TEL.0152-72-2160



美幌町

16

斜里町立
知床博物館

斜里町本町49-2
TEL.0152-23-1256



斜里町

33 帯広市 帯広百年記念館
アイヌ民族文化情報センター
リウカ

帯広市緑ヶ丘2番地
TEL.0155-24-5352



34 帯広市 帯広市生活館
「ふくろうの館」

帯広市柏林台東町2丁目2番地5
TEL.0155-34-6552



35 幕別町 幕別町
蝦夷文化考古館

幕別町字千住114番地の1
TEL.0155-56-4899



36 弟子屈町 弟子屈町屈斜路コタン
アイヌ民族資料館

弟子屈町字屈斜路市街1条通14番地
TEL.015-484-2128



37 釧路市 阿寒湖アイヌシアター
イコロ

釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目7-84
TEL.0154-67-2727



38 釧路市 アイヌ文化伝承・創造館
「オンネチセ」

釧路市阿寒町阿寒湖温泉4-7-19
TEL.0154-67-2727



39 釧路市 釧路市立博物館

釧路市春湖台1-7
TEL.0154-41-5809



40 白糠町 アイヌ文化活動施設
ウレシパチセ

白糠町東3条北1丁目2番地27
TEL.01547-2-5668



41 白糠町 アイヌ文化伝承空間
(東山公園)

白糠町東3条北1丁目2番地27
TEL.01547-2-5668(ウレシパチセ)



42 厚岸町 厚岸町海事記念館

厚岸町真栄3丁目4番地
TEL.0153-52-4040



43 標茶町 標茶町博物館
ニタイ・ト

標茶町字塘路原野北8線58番地9
TEL.015-487-2332



44 別海町 加賀家文書館
(別海町郷土資料館付属施設)

別海町別海宮舞町29
TEL.0153-75-2473



45 標津町 ポー川史跡自然公園
歴史民俗資料館

標津町字伊茶仁2784番地
TEL.0153-82-3674



46 標津町 ポー川史跡自然公園
(史跡 標津遺跡群伊茶仁カリカリウス遺跡)

標津町伊茶仁2784番地
TEL.0153-82-3674



47 羅臼町 羅臼町郷土資料館

羅臼町峯浜町307-1
TEL.0153-88-3850



8 旭川市
川村カ子ト
アイヌ記念館

旭川市北門町11丁目
TEL.0166-51-2461




9 旭川市
旭川市博物館

旭川市神楽3条7丁目(大雪クリスタルホール内)
TEL.0166-69-2004




10 名寄市
名寄市北国博物館

名寄市字緑丘222
TEL.01654-3-2575




11 士別市
士別市立博物館

士別市西士別町2554
TEL.0165-22-3320




12 稚内市
稚内市北方記念館

稚内市ヤムワッカナイ
TEL.0162-24-4019




13 枝幸町
オホーツク
ミュージアムえさし

枝幸町三笠町1614-1
TEL.0163-62-1231




道北 AINU MUSEUM エリア

北海道北部に遺された
固有のアイヌ文化に
出会えるエリア

道南 AINU MUSEUM エリア

蝦夷地と和人地の
モノ・ヒト・情報が
行き交ったエリア

6 函館市
函館市
北方民族資料館

函館市末広町21-7
TEL.0138-22-4128




7 八雲町
八雲町郷土資料館・
八雲町木彫り熊資料館

八雲町末広町154番地
TEL.0137-63-3131(八雲町教育委員会)





キョウちゃんど
旅してたまるアプリ /
北海道公式観光アプリ
**HOKKAIDO
LOVE!**

北海道を旅してポイントがたまる観光アプリが誕生！
ポイントは宿泊券などの抽選やお得なチケットに交換可能！
アプリで旅をさらに楽しもう！